

『日本遺産大山と山の日』展示

今年から山の日が祝日となりました。山の日は2014年に制定され、その趣旨は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」です。私たち大山町民は日々大山を仰ぎ見て、山の恵みに感謝していますが、あらためてその雄姿を眺め、その歴史や文化に思いを深く巡らせてはいかがでしょう。折しも5月に「地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」と題した大山にかかわる文化財や地域資源を盛り込んだストーリーが日本遺産に認定されました。本館では5月から大山にかかわる資料を展示し、貸し出しをしています。また、8月11日（祝日）の山の日には本館で、「だんだん大山～山に感謝し山を知る日」の企画として大山にまつわる昔話を手話で聞く会も予定しています。どうぞ皆さんでお出かけください。



～鳥取大学出前おもしろ実験室～
**「マイナス196℃の世界と
 超かんたん科学工作」に集合！**

日時：8月6日（土）10時～11時30分
 場所：本館
 対象：小学生（4年生以上）先着20人
 ※7月に配布予定の「夏休みわくわくBOOK」を
 ご覧の上、お申し込みください。

7月の図書館

《展示》

・「日本遺産大山と山の日」展示

《企画》

・呼んで読んでキャンペーン
 期間：7月23日～11月9日

《おはなし会など》

- ・7月 9日（土）おはなし図書館（本館）
- ・7月16日（土）ちいさなお話会
 （大山分館）
- ・7月23日（土）絵本を作ろう（名和分館）

司書おすすめの本

『ビジュアル版 日本の昔話百科』

石井正巳／河出書房新社

桃太郎や猿蟹合戦、かちかち山など、おなじみの昔話を紹介する1冊。昔話なんて今更、と侮ってはいけません。眺めているだけでも面白い図版の数々は、室町時代から明治時代に使用された貴重なもの。各話の成立の経緯や、ストーリーの変遷、伝承形態の変化についても触れられており、その長い歴史に感心させられます。よく知っている昔話でも新しい魅力を発見できるはずです。（ま）



図書館のご案内

一般・文学

- ★サブマリン/伊坂幸太郎
- ★暗幕のゲルニカ/原田マハ
- ★風聞き草墓標/諸田玲子
- ★吹けよ風呼べよ嵐/伊東 潤
- ★アメイジング・グレイス/神渡良平
- ★真実の檻/下村敦史
- ★バビロンの秘文字③/堂場瞬一
- ★必殺の三文判/深山 亮
- ★過ぎ去りし世界/デニス ルヘイン

その他

- ★ゆっくりたのしむ山歩き/古谷聡紀
- ★羽生結弦王者のメソッド/野口美恵
- ★老人の壁/養老孟司

★我が家の内輪話/三浦朱門

- ★ママ、もっと自信をもって/中川李枝子
- ★子どものスマホ・トラブル対応ガイド/安川雅史
- ★あせらず、おこらず、あきらめず/石井ふく子
- ★デジタルカメラ小さな自然の写し方/石井孝親
- ★再生可能エネルギー100%時代の到来/和田 武

児童書・絵本

- ★白いイルカの浜辺/シル ルイス
- ★さかさ町/F.エマーソン アンドリュース
- ★おしりをふく話/斎藤たま
- ★むかし日本狼がいた/菊池日出夫
- ★プッべじいさんとねこ/藤島由美
- ★ろってちゃん/ディック ブルーナ